



(写真) CNN Youtube アカウント “トランプ大統領 記者会見でベネズエラの軍事作戦について説明”

トランプ大統領 記者会見

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

1 月3日 トランプ大統領は自身の SNS アカ
ウントにてベネズエラで軍事作戦を実行し
たと投稿。マドゥロ大統領およびシリア・フローレス
大統領夫人を拘束したことを明らかにした。

実際にマドゥロ大統領が拘束されている画像も拡散
されており、既にニューヨークに移送されたと報じ
られている。

本稿では、トランプ大統領が本件について説明した
記者会見の内容について紹介したい。

トランプ大統領 記者会見の発言内容

2026年、1月3日(土曜) 11時(米国東部時
間)、米国のドナルド・トランプ大統領は、フロリ
ダ州にある自身の邸宅マール・ア・ラーゴにて記者
会見を実施。

ベネズエラでの軍事作戦を実施し、マドゥロ大統領と
シリア・フローレス大統領夫人を拘束したと発表しま
した。

以下は、トランプ大統領の記者会見の発言内容を日本
語にしたものになる。ただし、実際の発言には余談な
どが入っており不要な部分や趣旨から外れる部分は割
愛しており、忠実な日本語訳ではないので留意されたい。

昨夜、そして本日未明にかけて、アメリカ合衆国とその部隊は、ベネズエラの首都において極めて成功した作戦を実施しました。非常に見事な行動であり、第二次世界大戦以降、前例のない規模と精度の作戦でした。これは、腐敗した勢力に対抗し、ニコラス・マドゥロを拘束するための軍事行動でした。

今回の作戦は、アメリカ史上でも最も効果的な軍事展開の一つです。

これまでも複数の攻撃や作戦はありましたが、今回のようなものではありませんでした。カラカス市内の照明は、我々が有する専門的な能力により、ほぼすべて遮断されました。

街は暗闇に包まれ、極めて困難な任務でしたが、**マドゥロは妻であるシリア・フローレスとともに拘束されました。**

我々は彼らを司法の場に引き出す責任を負い、**ニューヨークの裁判所で裁かれるため正式に起訴されています。**容疑は**麻薬テロ関連など複数**に及びます。

この卓越した作戦を遂行したすべての兵士に感謝したい。

作戦を実行したのは現地時間で午前2時頃、これほどの作戦はほとんど前例がありません。アフガニスタンや、ジミー・カーター政権時代にも作戦はありましたが、今回のような成功例はありませんでした。アメリカは再び、かつてないほど尊敬される国となっています。

我々はこの種の作戦を成功させる能力を持ち、事実、それを証明しました。我々は準備ができており、相手もそれを理解していました。彼らも我々が実行できることを知っていましたが、我々の準備の方が上回っていました。

昨夜の作戦を見ていれば、その精密さ、実行力に衝撃を受けたはずです。

米軍に死者は一人も出ていません。

全員が無事に帰還しました。

数か月にわたる調整の結果であり、今回の作戦は本政権で最も大規模な展開です。

我々は世界最高のチームを有しています。

海上では麻薬カルテルの指導者らを標的とし、麻薬の97%を遮断しました。

我々は、**迅速かつ公正な移行が実現するまで、あらゆることを行います。**混乱を招く形で、他の人物が権力を握ることは許しません。

そのため、**移行が可能になるまで、我々が治安と秩序を担います。**

それは人道的で、良識ある形で行われます。

これは、アメリカに住む多くのベネズエラ人、祖国の自由を願う人々のためでもあります。

数十年にわたる暴虐な政権を、これ以上許すことはできません。だからこそ、我々は介入しています。人々が安全だと感じられるまで、我々は関与し続けます。

石油は重要な要素です。

破壊されたインフラを修復し、**アメリカの大企業がベネズエラに投資する準備があります。**

必要であれば、**より強力な第2波、第3波の攻撃も辞しません。**

実際に第2波が必要になると見込んでいましたが、今は恐らく不要だと考えています。もし第2波があるとすれば、今回より大きなものになるでしょう。

我々は当初から、「外科手術のように精密な作戦」が必要だと話していました。

マドゥロは、違法な麻薬取引、「太陽のカルテル」を率い、多くのアメリカ人、他国の市民を死に追いやりました。マドゥロとその妻はアメリカの司法の前に立つことになる。

我々は何度も停戦や対話を試みましたが、彼らは応じず、地域全体に麻薬と暴力を拡散させました。

マドゥロは、「トレン・デ・アラグア」などの犯罪組織を通じ、アメリカ国内でも深刻な被害をもたらしました。このようなことは、二度と起こりません。

彼らの指導者は拘束されました。

今後、誰もアメリカ国民を脅かすことはできません。長い年月がかかりましたが、今、ベネズエラの人々は自由になりました。これは正義のための行動です。

オペレーション・アブソリュート・リソルブ

この後、トランプ大統領はヘグセス戦争長官ら軍関係者に説明を譲り、軍関係者から作戦（『オペレーション・アブソリュート・リソルブ』）の概要について説明があります。

発言内容は割愛しますが、重要なのは、ベネズエラ軍の関与や支援については一切言及していない点。

あくまで米国軍および CIA、NSA などの米国情報機関を使用した米国の単独作戦との前提で説明しています。

実際には間接的にマドゥロ政権内部の支援があったことは予想されますが、基本的には米国組織による作戦だったと理解できます。

なお、12月初旬から特殊部隊は実行準備が整っていたと説明しています。

ただし、同作戦はヘリコプターと軍用機が重要なオペレーションだったため、天候を中心に複数の条件が整う時期を待つ必要があり、最終的に1月2日深夜に作戦を決行することになったということです。

なお、マドゥロ大統領とフローレス夫人は特殊部隊に拘束され、ヘリコプターに乗せられ、米国軍艦に移送され、その後飛行機で米国に移送されました。

質疑応答の重要箇所

その後、記者からの質疑応答に入る。

以下は、この質疑応答の中で特に重要な部分を抜粋したい。

Q：米国はベネズエラを「管理・統治」すると述べましたが、現在、誰が権力を持っているのですか？

A：我々が、チームとして管理します。正しく管理されることを保証します。

石油インフラを再建します。

その費用は、石油会社が直接負担します。

彼らは、その支出分を回収することになります。

石油は再び流れ始めます。

そして、ベネズエラ国民が守られるようにします。

国外に逃れた人々についても同様です。

Q：どのような仕組みで国を管理するのですか？

A：

今まさに検討中です。

人選を進め、関係者と話しています。

誰が適任かを見極めていきます。

基本的には、ここに私の後ろに立っている人々が中心になります。我々が管理し、立て直します。

ベネズエラには、本来そこにいるべきでない人々が多くいました。我々は、そうした人々が再び権力を握ることを許しません。

優れた人材が国を管理し、再び軌道に乗せ、国民のために多くの富を生み、米国から追い出された人々に補償を行います。

Q：米国はどれくらいの期間、ベネズエラにとどまりますか？

A：

できるだけ早くしたいが、時間はかかります。

インフラは腐敗し、危険な状態です。

石油は非常に危険な資源です。

多くの人々が、採掘の過程で命を落としています。

25年前に我々が設置した設備を、すべて置き換えます。

Q：あなたは、国務長官、戦争長官ら（実際のところ、トランプ大統領は私の後ろに立っている人々と発言）がベネズエラを管理すると言いましたが、彼らはどのような体制で関与するのですか？

A：

彼らはチームとして、ベネズエラ国民と協力して物事が正しく行われるようにします。

もし我々が去ったら、誰が国を管理するのか。

マドゥロが指名した副大統領がいる。

今この時点では、彼女が副大統領であり、実質的には大統領の立場にあるのだと思います。

彼女は就任したばかりです。

彼女はルビオ国務長官と会話をしました。

そして彼女は、

「あなた方が必要とすることを、我々を行う」と言いました。

マドゥロのように、ただ去って混乱を残すようなことはしません。他の国々がやってきたように、去ってすべてが崩壊する、そういうやり方はしません。

これは、正しく、専門的に管理されます。

石油会社がすべてを管理し、

その恩恵を受けるのはベネズエラ国民です。

Q：野党指導者マチャド氏はどこにいるのですか。

A：

分かりません。

彼女が指導者になるのは非常に難しい。

穏やかな人物ですが、国内での支持はありません。

Q：議会には事前に通知しましたか？

A：

いいえ。通知していません。

これは事前に知らされる性質の作戦ではありません。「15日後にやるかもしれない」と電話できるような作戦ではなかった。

これは主として法執行の問題であり、米国司法から逃亡していた2人の被告を拘束する任務でした。

政治的な影響はありますが、事前に話せば作戦が危険にさらされていました。

さらに言えば、**議会は情報を漏らしがちです。**

漏洩があれば、結果は違っていたでしょう。

以上が筆者の考える質疑応答の重要箇所である。

発言内容の考察については追ってレポートとして紹介したい。

以上